

J R 東労組横浜地本青年部情報

Truth ~真実~

J R 東労組
横浜地本
公式 H P



第 1 8 号

2 0 2 2 年 2 月 1 2 日 発 行

発 行 責 任 者 森 田 隼 士

編 集 者 教 宣 部

「22春闘に向けた学習会」を開催



2月6日に藤沢商工会館ミナパーク503会議室にて「22春闘に向けた学習会」を開催しました。コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、感染対策を講じながら学習会を実施しました。

学習会では「J R 東労組 22春闘職場討議資料」である「社友会は団体交渉が出来ない！働く者の労働条件を守るため、22春闘へ向け、今こそ組織強化・拡大を実現しよう！」の読み合わせをし、賃上げを求める根拠や定期昇給がカットされたことの何が問題であるか、また、第二基本給の課題について改めて確認をおこない、参加者全員で認識一致を図りました。それを踏まえた上で、「今の生活、ぶっちゃけどうですか？」と「赤字・コロナ禍においてJ R 東労組が定期昇給・ベースアップを求めていくことについてどう思うか？」という2つの議題を投げかけ、議論をおこなってきました。その中では「ボーナス減額は生活に大きく影響があるが、定昇カットやベアゼロは給料のマイナスではないので、現状では影響を感じない」や「周りでは赤字の中での賃上げを求めることに拒否感がある」と言った率直な意見が出てきました。そのことに対して「昇給係数4の場合と比較して具体的な金額の提示」や「ベアと定期昇給の本質、求める根拠の違い」を明確にして、春闘でなぜ賃上げを求めていくのかを確認しました。また、「寺子屋賃金ばなし」を用いて「労働と労働力の違い」と「労働力の価値」について学習し、参加者全員で賃上げを求める根拠を確認しました。

賃上げの交渉は社友会にはできない！

J R 東労組はより良い労働条件への改善を目指します！